

斑鳩・生駒・大和郡山・磯城

ぼんちの西らん

ペースは
つがめた？



まだまだ
続くよ～

Q & A

Q41

写真に写っている
ほうりんじ
法輪寺三重塔は、
昭和50年(1975)
に再建されました。
これにはある作家
の尽力が大きかった
といえます。この
作家とは誰で
しょう。



Q42

写真は紅葉の名所として知られる竜田川ですが、この川を詠んだ人物といえば、誰でしょう？ 歌は『小倉百人一首』にも入っています。



Q43

世界最古の木造建築が建ち並ぶ法隆寺。数知れない寺宝の中に、最古の印刷物といわれるものがあります。何と呼ばれるものでしょうか。

Q44

時代によって形式がかわる古代寺院の伽藍配置がらん。では、法隆寺式伽藍配置では、回廊で囲まれた中に、何と何が配置されているでしょう。

Q45

推古天皇すいこと聖徳太子によって創建され、平成5年(1993)に世界遺産に登録されたお寺といえば、どこでしょう。

Q46

このお寺の木造菩薩半跏像ぼさつはんか(国宝)は、右足を左の膝上に載せた独特なポーズで知られています。生駒郡斑鳩町にあるこのお寺の名前をお答えください。

Q47

中宮寺に伝わる、月のなかにウサギと薬壺やっこが描かれる飛鳥時代の織物といえば、さて、何でしょう。

Q48

現存する三重塔では最古といわれる美しい塔があるお寺は、どこでしょう。

A41

こうだあや
正解は 幸田文

ほうりんじ
法輪寺三重塔は法隆寺五
重塔、ほうきじ
法起寺三重塔とともに
斑鳩三塔と呼ばれ、最大で最
古の三重塔として国宝に指定
されていました。ところが昭
和19年(1944)、落雷によ
り焼失してしまいます。当時
の井ノ上けいがく慶覚住職は再建を
めざし、全国を勧進行脚しま
した。そんななか出会ったの
が幸田文でした。

こうだろほん
父の幸田露伴が小説に書
いた東京谷中やなかの五重塔が、放
火で炎上してしまった経験を
もつ幸田文は、法輪寺の三重
塔再建に協力します。解体修
理の際に作られた図面を元に
再建を進めます。井ノ上きゅうせい住職
の急逝後も、幸田文は積極的
に塔再建ほんどうに奔走、全国を講演
して資金を集めました。

その努力が実を結び、塔は
昭和50年(1975)、創建当
初の姿で斑鳩の地に蘇った
のです。

A42

ありわらのなりひら
正解は 在原業平

『小倉百人一首』に入っ
ている在原業平の1首といえ
ば、「ちはやぶる 神代も聞か
ず 竜田川 からくれなゐに 水
くくるとは」(『古今集』)で
すね。写真は斑鳩町の竜田公
園で撮影した竜田川。古くか
ら知られる紅葉の名所です。

Q37にも登場した業平は、
そのたぐいまれな和歌の才か
ら、六歌仙の1人に数えら
れています。皇族として生ま
れましたが、権勢けんせいをふるう藤
原氏を恐れた父の考えで、
臣籍降下しんせきこうかして風雅に身をやつ
す人生を歩みました。

『伊勢物語』の主人公「昔
男」ともいわれ、平安貴族の
青年たちから理想の人間像と
されました。また、恋多き人
でもあった業平。娘たちは炭
を顔に塗って醜くよそおい、
好色の業平に連れ去られな
いようにした、という伝説も
あるとか。



A43

正解は 百万塔陀羅尼

ひゃくまんとうだらに

近代印刷の歴史は1450年、ドイツのグーテンベルクによる印刷の発明にはじまるというのがよく知られるところです。

しかし、現存する世界最古の印刷物とされているのは、法隆寺の「百万塔陀羅尼」です。天平宝字8年(764)に藤原仲麻呂なかつまろの乱を平定した称徳天皇しやうとくが、戦死した多くの兵士の菩提ぼだいを弔うために6年かけて作りました。

陀羅尼を100万巻印刷し、小塔に分けて納め、10万基ずつを元興寺・法隆寺・東大寺・西大寺・興福寺・薬師寺・大安寺・四天王寺・川原寺・崇福寺すうふくじの10ヶ寺に奉納しました。版を凸状に彫りその上に紙を載せて印刷した陀羅尼を、小さな木製の三重塔に納めてあります。現在、これらの塔はほとんどが散逸しましたが、法隆寺には4万数千基が残っています。

A44

正解は 塔と金堂

こんどう

7世紀後半までに創立された寺院では、仏舎利ぶつしゃりを納める塔が最も重要と考えられたため、塔を囲むように中金堂、西金堂、中金堂と、3つの金堂が塔を囲んで建つ伽藍配置がらんでした。飛鳥寺がこの形式であったことから、飛鳥寺式伽藍配置と呼ばれます。その後、金堂は1つだけになり、塔と一対で伽藍内に配されるようになります。

法隆寺西院の伽藍配置(法隆寺式伽藍配置)は、中門から左右にのびる廻廊に囲まれたなかに、東に金堂、西に五重塔を配し、廻廊の北側外に講堂を置き、その東西斜め前に鐘楼しやうろうや経蔵きやうぞうが配されています。金堂は現存する世界最古の木造建築で、胴張りの太いエンタシスの円柱、深い軒を支える雲斗くもとと雲肘木くもひじきなどに飛鳥建築の特徴がよく表れています。

A45

正解は 法隆寺

法隆寺は世界遺産に登録された日本初のお寺です。西院伽藍がらんの五重塔（国宝）は、金堂とともに現存する世界最古の木造建造物すいごです。推古天皇15年（607）に建立されたと伝えられる法隆寺（若草伽藍）は、天智天皇9年（670）、雷によって火災に遭い、ことごとく焼け落ちてしまったことが『日本書紀』には書かれています。その後、金堂、五重塔、中門、廻廊の順に再建され、現在目にする西院伽藍が、8世紀初頭には完成していたと考えられています。現在の塔の高さは基壇の上から31.5m。最下層の内陣には、奈良時代初頭につくられた塑像群そぞうもあります。

法隆寺のある斑鳩の里にはほかにも由緒ある寺院があり、美しい塔の姿を望める場所として散策コースに最適です。のんびり歩いてみるのはいかがでしょうか？

A46

正解は 中宮寺

斑鳩の里にある中宮寺は、法隆寺や四天王寺などとともに、聖徳太子が建立した7つのお寺のうちの1つ。母の穴穂部間人皇后あなほべのはしひとのごうごうのために造られたといわれています。昭和38年（1963）に現中宮寺の東方に旧中宮寺跡が発掘され、南北に並ぶ塔や金堂跡から、四天王寺式伽藍配置であることがわかりました。

本尊の木造菩薩半跏像ぼさつはんか（国宝）は、台座に左足を踏み下げて座り、右足を左足の膝上に乗せ、頬に右の指先を当てたポーズをとっています。気品ある微笑をたたえるこの像を、和辻哲郎も『古寺巡礼』のなかで賛美しています。瞑想する静かな心をこれほどまでに美しくあらわす像はまれ。飛鳥時代の最高傑作であり、日本美術史上欠かすことのできない地位を占める仏像です。



A47

てんじゅこくしゅうちょう
正解は **天寿国繡帳**

天寿国繡帳は斑鳩の中宮寺に伝わる織物で、聖徳太子の妃であった橘大郎女たちばなのおいらつめが太子を偲おもうび、太子が天寿国てんじゅこくに往生じょうじゅうしたようすを刺繡ししゅうさせた染色工芸品です。当初は長さ2mあったといわれていますが、現在は断片をつなぎ合わせた縦88.8cm×横82.7cmのものしか残っていません。もとは100個の亀甲きっこうが刺繡され、そこに4文字ずつ、計400文字で繡帳を作った由来が記されていました。

中宮寺ではそのレプリカを見ることができます（現物は奈良国立博物館に寄託）。月のウサギがいるのは左上の部分。ふちどられた月のなかには、左端に片足を上げたウサギ、真ん中に薬壺やっこ、右端に桂樹けいじゅが刺繡されています。中国の伝説では桂樹は月に生える木とされ、ウサギは月で不死の薬をつくと考えられていたためです。

A48

ほうきじ
正解は **法起寺**

法起寺は、聖徳太子の遺命めいによって、山背大兄王やましろのおおえのおうが太子の宮であった岡本宮を寺にしたものと伝えられています。兵火等によって荒廃が進み、江戸時代に残っていたのは三重塔だけでしたが、真政圓忍しんせいえんにん律師しんせいのうの発願によって本堂、聖天堂が建てられました。

伽藍配置は塔を東に金堂を西におく法起寺式で、法隆寺とは塔と金堂の位置が逆となっています。三重塔は、天武天皇14年（685）に発願、慶雲3年（706）に建立こんりゅうしたと推定されています。国内では最古の三重塔で、国宝です。雲斗くも・雲肘木むじき、エンタシスのある柱、深くて勾配のゆるやかな屋根などは、法隆寺五重塔に通じるものがあります。

Q49

ぐるぐるとぐろを
巻く蛇。写真にあ
る蛇が祀^{まつ}られてい
るお寺といえは、
さて、どこでしょう。



Q50

大きな岩に彫られた2体の特徴的な石仏。このほかにもたくさ
んの石仏が見られる生駒郡平群町の溪谷とは、さてどこでしょう。



Q51

生駒市にあるこのお寺を中興したのは湊海たんかいというお坊さん。そのむかし、役行者えんのぎょうじゃや空海が修行した場所ともいわれています。さて、なんというお寺？

Q52

朝護孫子寺ちょうごそんしじ（信貴山寺しぎさんじ）門前に、日本最古の珍しい構造をもつ橋があります。国の登録有形文化財であるこの赤い橋の名前は何でしょうか。

Q53

朝護孫子寺に残る命蓮上人みょうれんの一生を描いた絵巻物は、なんと呼ばれる絵巻物でしょうか。

Q54

インパクトのある巨大な張り子の虎「大寅」が迎えてくれる寅の寺、朝護孫子寺。ではこのお寺の御本尊は何という名前でしょうか。

Q55

生駒郡安堵町あんど出身で、昭和30年（1955）に第1回重要無形文化財保持者（人間国宝）となった日本を代表する陶芸家といえば、さて誰でしょう。

Q56

生駒市の宝山寺に向かって坂を登る車両。この種のもものでは日本でもっとも歴史が古いこの鉄道線、名前をなんというでしょう。

A49

正解は 朝護孫子寺

現世利益に靈験れいげんがあるとされる朝護孫子寺（信貴山寺、平群町）。山腹に建つ懸崖造りの本堂はよく知られますが、その本堂よりさらに高く、松永久秀の信貴山城のあったところに空鉢護法堂くわつごぼうどうがあります。この拝殿に石造の蛇「み（巳）いさん」が祀られています。

空鉢護法堂は、平安時代、命蓮上人が竜王の導きによって山頂に竜王の祠ほくらを建てたと伝わるものです。日本では蛇と竜の区別が曖昧なことが多く、ここでも竜王を祀るお堂でありながら、みいさんが祀られています。

蛇の彫像をなでながら願いを念じると、一願かなを叶えてくれるといわれます。また、本堂下の水場で汲んだ水をお供えするのがお参りの作法です。みいさんは水の護り神なのです。

A50

正解は 鳴川渓谷

平群町にある鳴川渓谷は、すがすがしい緑に囲まれた里山の渓谷です。鳴川峠を源流とする櫛原川の水音と緑が織り成す一帯は、夏でもひんやりしており、紅葉の名所としても知られます。

渓谷両岸の岩壁に彫られているのが、鎌倉から江戸時代にかけての磨崖仏「清滝石仏群」です。写真の「貝吹き地蔵」のほか、総高3.37m、仏身2.9mの通称「八尺地蔵」、四角く切られた彫り込みのなかに、釈迦・薬師・地蔵・弥勒・阿弥陀の五尊が並ぶ通称「五智如来」などの姿を拝することができます。また川をまたぐように勧請縄が掛けられており、渓谷の上に広がる集落に、悪いものが入って来ないようにしています。鳴川渓谷は聖と俗との境目であり、また数々の仏たちがおわす聖なる地でもあるのです。



A51

ほうざんじ
正解は 宝山寺

生駒市にある宝山寺は、奈良盆地が一望できる生駒山地に建っています。山腹に露出する奇岩は般若窟ほんにやくつといわれ、その景観から山岳信仰の対象となり、古来神や仙人が住む霊場として信仰されてきました。役行者が梵本の般若経を般若窟に納め、若き空海が修行したという伝説も残っています。

湊海たんかいは京都の東寺や高野山など密教の霊地で修行したのち、延宝6年(1678)生駒山に入山、宝山寺を再興・開山しました。般若窟に弥勒菩薩を祀り、寺の復興に努め、寺勢おこが興ります。商売繁盛、現世利益の「生駒の聖天さん」を祀ることから、大坂の商人から絶大な信仰を集めました。いまも年間300万もの参拝者が訪れます。また近年では、例年秋のお彼岸まんとうえに開催される「生駒聖天お彼岸万燈会」も人気を博しています。

A52

かいうんぼし
正解は 開運橋

朝護孫子寺の南側、大門池にかかる開運橋は、お寺と対岸とを結ぶ赤い橋。かつて走っていた信貴山電鉄山上線の終点、信貴山門駅からお寺へ向かう近道として昭和6年(1931)に造られた鉄橋です。全長106m、幅約4m、橋の上には寅の車止めがデザインされています。

この開運橋は、日本最古の「カンチレバー」という構造をもつ非常に珍しい橋。カンチレバーとは、橋脚きょうきゃくの左右でバランスをとりながら少しずつ橋桁はしげたを伸ばす工法で、戦前に架けられた橋で現存するのは、開運橋と長野県小諸市こもろの中津橋の2例だけなんです。

貴重な構造をもつ開運橋は、平成19年(2007)、国の登録有形文化財になりました。

正解は『信貴山縁起絵巻』

朝護孫子寺ちようごそんしじに伝わる国宝『信貴山縁起絵巻』は、12世紀頃の作と伝えられ、日本の絵巻物の代表作の1つといわれています。

社寺縁起絵巻は創建の経緯等が述べられているのが普通ですが、この絵巻は信貴山みようれんで修行していた命蓮上人みようれんの奇跡譚きせきたんが主題。「飛倉とびくらの巻」「延喜えんぎ加持かじの巻」「尼公あまぎみの巻」の3巻からなり、日本上代絵画の到達点といわれています。

「尼公の巻」は命蓮の姉が信貴山に至り、命蓮とともに信仰生活を送るようすが描かれています。ここに描かれる東大寺大仏殿たいらのしげひらは平重衡ひらしげの南都焼き討ち前ごんりゆうの、建立当時の大仏殿の姿を描いた唯一の資料。商家・農家・庶民の風俗などの描写は、当時の生活を知る上でもたいへん貴重な資料です。

正解は毘沙門天王

朝護孫子寺は、聖徳太子によって開かれ、日本で最初に毘沙門天王びしゃもんてんのうが出現したという縁起ひだつをもちます。敏達天皇11年(582)の寅年、寅の日、寅の刻に、毘沙門天王びしゃもんてんを感得した太子が、その力を得て物部守屋ものべのもりやを討ち、自ら毘沙門天王の像を彫って「信ずべき貴ぶべき山」として「信貴山」と名付け、伽藍を建立したといわれています。

日本では七福神としてなじみのある毘沙門天ですが、もともとはインド・中国からきた神様。戦勝の神で、武田信玄など、多くの武将の信仰を集めたこともよく知られています。

12年に1度来る寅年には、盛大な法会ごんしゅうが厳修され、毘沙門天王びしゃもんてんの奥秘おくひぶつ仏御開帳びしゃもんかんじょうをはじめ、毘沙門灌頂びしゃもんかんじょう厳修、『信貴山縁起絵巻』の特別出陳しゅつちんなど、さまざまな行祭事が開催されます。



A55

とみもとけんきち
正解は 富本憲吉

富本憲吉は、明治19年(1886)、東安堵の旧家に生まれました。東京美術学校(現東京藝術大学)に入学、ロンドン自費留学から帰国後、イギリス人陶芸家のバーナード・リーチに影響を受け、本格的に陶芸の道に進みます。

その作家人生は、作風によって大きく3期に分かれます。初期である「大和時代」は、らくやき染焼や安堵の自然を描くなど素朴さにあふれ、「模様の富本」とも呼ばれました。続く昭和20年(1945)までの「東京時代」には、生活のなかの陶磁器を念頭に、四弁花連続文様などを描いた独自の色絵磁器いろえを完成します。さらに晩年までの「京都時代」には、きんぎんさい金銀彩の華やかな装飾を考案、また文字模様も多用しました。

富本は、昭和38年(1963)、77歳で没します。新しい作品に挑み続けた生涯でした。

A56

いこまこうさくせん
正解は 近鉄生駒鋼索線
(生駒ケーブル)

生駒ケーブル線が開通したのは、大正7年(1918)。生駒鋼索鉄道株式会社によって鳥居前から宝山寺まで、日本初の営業用ケーブルカーが走ることになりました。運転開始当初の距離は1.1km(現在0.9km)、昭和元年(1926)に生駒ケーブル2号線が開通、複線化し、昭和4年(1929)には路線が延長され、宝山寺から生駒山上までが結ばれます。鳥居前から宝山寺までを宝山寺線、宝山寺から生駒山上までを山上線と呼びます。

平成12年(2000)に運行が開始されたブル号、ミケ号は、車両がまるごとわんにゃんスタイル。ふもとの鳥居前駅と宝山寺駅の間を走り、宝山寺駅でメルヘンチックなドレミ号、スイート号にボタンタッチします。生駒山上にある遊園地へもつながるこの路線、童心に返って楽しんでみませんか？

Q57

しき磯城郡川西町ゆうざき結崎には、空からネギと一緒に落ちてきたあるものを祀るために建てられたという塚があります。さて、あるものとは何でしょう。



Q58

写真は「かんきだん歓喜団」というお菓子です。これをお供えすると喜んでくれるのはどなたでしょうか。お菓子の名前がヒントです。



Q59

もとは旧暦の5月5日に行われた磯城郡田原本町のこの行事。ワラでできた長〜い蛇を担いで村内を練り歩きます。その行事名とは？

Q60

^{ちやうよう}重陽の節句にここを通った松尾芭蕉は、「菊の香に〇〇〇〇登る 節句かな」の句を残しました。芭蕉が登ったという峠は、いったいどこ？

Q61

生駒市にある^{ちくりんじ}竹林寺には、奈良時代の著名な僧のお墓（^{かそつぼ}火葬墓）があることで知られます。このお坊さん、誰でしょうか。

Q62

空海が^{さんごうしいき}『三教指帰』を^{あらわ}著したといわれる田原本町のお寺はどこでしょう。

Q63

土器に描かれた^{ろうかく}楼閣で知られ、国内屈指の弥生時代の集落遺跡といえば、どこでしょう。

Q64

磯城郡川西町^{ほんだ}吐田に祀られるお地蔵さんには、あるものをかけてお祀りすることで知られます。普通はかけられたら嫌がりそうなその液体、さて何でしょう。

正解は 能面 (翁の面)

写真の塚は磯城郡川西町結崎にある「面塚」です。面塚のすぐそばには、観世流能がおこった地であることを示す「観世発祥之地」の碑が建っています。じつは結崎は、能楽の祖・観阿弥が居を構えた、能楽とたいへんゆかりの深い地なのです。

観阿弥は大和で猿楽を一般にもわかりやすい芸能に改革、京の都に進出します。息子の世阿弥とともに將軍足利義満の厚い庇護を受け、能楽を大成させました。

面塚は、そんな能楽発祥の地ならではの伝承に基づく石碑です。室町時代のある日、空から翁の面とネギの束が落ちてきました。そこで村人は翁面を祀る面塚を建て、ネギを植えてみると、じつによく育ち、のちの「結崎ネブカ」になったとか。この言い伝えは、江戸時代にできたと考えられています。

正解は 歓喜天 (聖天)

歓喜天は人間の体に象の頭をもつ神で、ヒンズー教の神「ガネーシャ」が仏教に取り込まれたもの。仏教の教えを守護する善神となった歓喜天は、別名を聖天ともいい、宝山寺の「双身歓喜天像（生駒の聖天さん）」がよく知られています。子授けや生きる喜びを肯定する芸能の神、現世利益を約束する神として、庶民の信仰を集めています。

この歓喜天の好物が大根と写真の歓喜団。大根はもともとガネーシャの大好きで、古くから毒消しの食べ物とされます。歓喜団は巾着型の唐菓子で、京都の菓子店では揚げ菓子として売られています。

聖天さんの御紋は、巾着にクロスした大根をおいたもの。まさに聖天さんの大好きが御紋となっているのです。



A59

正解は ^{いまざと}今里・^{じゃま}鍵の蛇巻き

毎年6月の第1日曜、磯城郡田原町今里の杵築神社と鍵の八坂神社では、蛇巻きの行事が行われます。もとは旧暦の5月5日(端午の節句)に行われ、豊穰祈願と男の子の成人を祝う節句の行事です。2村の蛇巻きはそれぞれ特徴があり、蛇のかたちや祭り方がはっきり違っていますが、どちらも全員男子で行われます。

今里の杵築神社では、13時過ぎに中学生以上の男子が麦ワラを束ねて、全長18mもの蛇を作ります。その後、中学生の男子が蛇の頭を抱え、今里の各戸を「おめでとう」といいながら練り歩きます。

鍵では、午前中八坂神社にて稲ワラで蛇をつくり、午後から1年の間に鍵大字内で祝いごとのあった家々を、蛇を担いでまわりまわります。2kg近い頭を17歳の少年と当屋が一緒に担いで歩きます。

A60

正解は ^{くらがりとうげ}暗峠

問題の句は「菊の香にくらがり登る 節句かな」。松尾芭蕉が大和の風景を詠んだ句は多く、奈良県内には30近く芭蕉の句碑が建っています。

この句が詠まれた元禄7年(1694)は、芭蕉が世を去った年。すでに体調を崩していた芭蕉でしたが、大坂の門人に招かれ奈良を発ち、暗峠を越えて大坂に入りました。しかし旅の疲れをとる間もなく病に伏し、二度と旅に出ることはありませんでした。

標高455mの暗峠は、奈良と大坂を結ぶ生駒越えの峠の1つ。奈良下三条口と大坂の玉造まで、約8里の暗越くらがりこえ奈良街道が結び、芭蕉の時代、数ある峠の中ではもっとも往来のあった経路だったそうです。現在も国道308号として、「日本の道100選」にも選ばれた風情ある石畳の道を残しています。

正解は 行基

竹林寺があるのは生駒山東麓。ここに文殊信仰の霊場で名高い中国・五台山の竹林寺にちなみ、文殊菩薩の化身といわれた奈良時代の高僧、行基の墓があります。

架橋、治水などの社会事業に奔走し、東大寺大仏の造立にも力を尽くした行基は、「行基法師をもって大僧正となす」と最高の称号を与えられました。

『行基年譜』には、行基が生駒山に入り「生馬仙房」で修行したとあり、「生馬仙房」の後身が竹林寺とされています。竹林寺は西大寺中興の祖・叡尊、その弟子忍性によって再興されましたが、廃仏毀釈で廃寺となり、本堂も破壊されました。その荒廃ぶりはすさまじいものでした。竹林寺が再興されたのは平成9年(1997)になってのことです。

正解は 秦楽寺

秦楽寺は、聖徳太子の家臣だった秦河勝が太子から賜った観音像を祀ったことにはじまると伝わるお寺です。また、秦氏の居住地であったこともあり、雅楽の楽人や猿楽に関係する人たちが住んでいたともいわれています。

『三教指帰』は空海自筆の書。3人の人物に仮託して、儒教、道教、仏教の3教で仏教が最もすぐれていることを説いたもので、空海自身の出家宣言でもあります。この『三教指帰』は秦楽寺で書かれたものだ、という言い伝えが、秦楽寺に残っています。

また、秦楽寺本堂前面にある「阿字池」は空海の築造と伝えられていて、空海が『三教指帰』を著述中、池の蛙がやかましく鳴くので叱ったところ、それ以来鳴かなくなったという伝説も残っています。



からこ かぎ
正解は 唐古・鍵遺跡

唐古・鍵遺跡は、磯城郡田原本町の唐古から鍵にかけて広がる弥生時代の環濠集落遺跡です。集落は直径約400mにもなる大きな環濠で囲まれ、遺構面積は42万㎡もの広さと推定されています。大型建物や高床・竪穴住居跡などが検出されたほか、土器や木製農具など多種多様な遺物が出土しました。その内容から、弥生時代の近畿地方の盟主的な集落と推定されています。

現在、遺跡の全容は唐古・鍵考古学ミュージアムで知ることができるほか、現地には出土遺物をもとに楼閣が復元されています。この楼閣は、第47次調査で出土した絵画土器がモデル。4本の柱に支えられた茅葺き屋根の2階建てで、特徴のある渦巻状の屋根飾りはフジヅルを使い、遠目からでもよくわかります。

正解は 油

大和川の堤防の南、磯城郡川西町吐田に祀られるお地蔵様は、その名も「油掛地蔵尊」。像の高さは台座も含めて約61cm、大永3年(1523)に造られた古い地蔵で、願いがかなった日に油をかけたので、油で黒光りしています。7月の地蔵盆には油掛け供養が行われます。

油掛地蔵尊が祀られているのは、むかし聖徳太子が通ったという筋違道の近く。洪水など、水の被害が大きかった地にある地蔵が水につかるのを太子が嘆き、油を塗れば水を防げると塗ったのがはじまりと伝承にはありますが、地蔵が造られたのは太子が生きた時代よりもずっとあとのことです。このエピソードは、聖徳太子と油掛地蔵尊とが、村人にどれだけ親しまれてきたかをよく表しているといえるでしょう。

Q65

茶人、片桐石州かたぎりせきしゅうが父の菩提ぼだいを弔うためにとむら建立した、美しい庭で知られるお寺はどこでしょう。



Q66

豊臣秀吉の異父弟で、郡山城の主でもあった人物とは誰でしょう。またその人の墓所として残る写真の地の名称は何でしょう。



Q67

御祭神は天空の守護神。そのために神社の楼門にプロペラを奉納された神社があります。その神社とはいったいどこでしょう。

Q68

「元の木阿弥^{もくあみ}」の語源は、じつは奈良の戦国大名のあるエピソードに由来します。さてその大名、何という名前でしょう。

Q69

舎人親王^{とねりしんのう}が『日本書紀』編さんに際して、自身の厄除けと『日本書紀』の無事完成を祈願するために建立したお寺は、さてどこでしょう。

Q70

『古事記』は稗田阿礼^{ひえだのあれ}が口述したものを太安万侶^{おあのみよまろ}が筆記したと伝えます。では稗田阿礼の出身地にあり、阿礼^{まつ}を祀る神社とは、さて、どこでしょう。

Q71

平成24年(2012)に制定された奈良県の「県のさかな」。さて、鮎とアマゴ、あともう1つは何でしょう。

Q72

古代の奈良では、律令国家のもと、幹線道路が造られました。平城京羅城門^{らじょうもん}から、藤原京へ南進していた幹線道は、何と呼ばれていたでしょうか。

正解は **慈光院**

大和郡山市にある慈光院は、茶道をたしなむ方なら一度は訪ねたいお寺。この寺を建立した片桐石州は、江戸時代前期に活躍した大名で、大和小泉藩の2代目藩主です。

4代将軍徳川家綱に茶道を教えた当代一流の茶人で、時代の流れである武士中心の世に調和させた「分相應」の茶道をよしとし、家綱以降、徳川将軍家は代々石州流を学んでいます。

境内は創建から約350年を経たいまでもほぼ建造当時のようすが残っています。茶人石州のたくみな演出が施された境内は隙がなく、なおかつ心地よくお茶を楽しめる空間として設計されており、書院前に広がる枯山水庭園は、たいまでら たっちゅうつ 當麻寺塔頭の中こくわえん 坊香藕園、吉野山の竹林院くんぼうえん 群芳園とともに「大和三名園」に数えられています。

 正解は **豊臣秀長と大納言塚**

この墓所がある大和郡山市は、名城郡山城で知られています。城郭は戦国大名筒井順慶が築城し、筒井氏に代わり天正13年(1585)、秀吉の異父弟である秀長が入城しました。秀長は集めた商人に独占権を与えるなど城下町の繁栄政策を講じます。また、城下町に自治権を許し、地代(地子)も免除しました。秀長は大和・紀伊・和泉三ヶ国を領する百万石の太守で、天正15年(1587)には大納言に叙せられたため、大和大納言と呼ばれました。

兄・秀吉の信頼のもと、豊臣政権の大黒柱として活躍しましたが、同19年(1591)郡山城内で51歳で死去。江戸時代、墓所は荒廃しましたが、菩提寺春岳院などの尽力により、安永6年(1777)、五輪塔などが整備され、いまの大納言塚となりました。



A67

やたにいますくしたまひこじんじや
 正解は 矢田坐久志玉比古神社

大和郡山市矢田町にある
 矢田坐久志玉比古神社の御
 祭神は物部ものべ氏の祖先神・櫛玉くしたま
 饒速日命にぎはやひのみことと御炊屋姫命みかしきやひめのみこと。
 『大和志』には、矢落大明神
 とありますが、矢落とは饒速
 日命が天から降りたとき、
 天磐船あまのいわふねから3本の矢を射ち、
 その二ノ矢が落ちたところに
 鎮座した、との言い伝えから
 きています。

また、「矢田」の地名もこ
 れに由来しているといわれて
 います。

この天磐船の故事から、矢
 田坐久志玉比古神社は大空
 の守護神「航空祖神」とさ
 れてきました。そのため楼門
 に中島飛行機製の陸軍九一
 式戦闘機の木製プロペラが
 奉納されているのです。神社
 には、いまでも空の旅の安全
 を祈って参拝する方が多い
 そうです。

A68

つついじゅんけい
 正解は 筒井順慶もしくは
 筒井順昭
じゅんしょう

筒井城を居城とし、大和一
 国をほぼ手中に収める勢力を
 持っていた筒井氏。筒井順昭
 は大和国の戦国大名として、
 勢力を拡大していました。と
 ころが、28歳の若さで不治
 の病にかかってしまい、比叡
 山に隠居します。嫡子の藤勝
 はまだ3歳の幼子でした。

順昭は思案の末、城に出入
 りしている盲目の法師もくあ（木阿
 弥み）を影武者に仕立て上げ、
 死後3年間は自分の死を隠
 し通し、外敵の侵略を防ぐこ
 とを思いつきます。計画は成
 功し、藤勝は6歳のときに
 城主となり、お家は安泰しま
 す。この藤勝が有名なのちの
 筒井順慶です。

大役を果たした木阿弥は
 大勢の家臣がいた城主から
 一介の法師に逆戻り。そこ
 から「元の木阿弥」という言葉
 が生まれたそうです。

正解は 松尾寺

大和郡山市の松尾寺は、養老2年(718)、舎人親王とねりしんのうの『日本書紀』などの編さん成就を祈願して開かれたと伝えられています。またその開創の年、舎人親王が42歳やくどしの厄年やくどしに当たっていたため、厄除けもあわせて祈願したといえます。

松尾寺が日本最古の厄除け霊場といわれるのはこの伝承に基づくもので、いまも厄除け祈願の満願はつまに当たる初午はつまの日には、「まつのおさん詣り」として盛大に大祭が行われます。

松尾寺恒例の行事としてよく知られるのが「一休さん修行」。心身ともに健康で賢くなるようにと、小学3年生～6年生の男の子を対象に夏休みに実施されています。僧衣に身を包み、写経や座禅、掃除をするなどして体や精神を鍛えるのです。

正解は 賣太神社

賣太神社ひえは大和郡山市稗田町だの中世環濠集落の東南部ひえだのあれのみことにあり、稗田阿礼命まつを祀ります。延喜式に記された格式ある式内社で、古くから信仰されてきました。

また稗田は、天鈿女命あめのうずめのみことを祖にもつという稗田猿女君さるめのきみの邸宅があったと伝えられる地です。ここに生まれたといわれるのが稗田阿礼。聡明で記憶力が抜群に優れた稗田阿礼は、舎人として天武天皇に抱えられ、歴代の神々の事蹟や皇位継承、天皇の業績あんしやうなど、数多くの事柄を暗誦するように命じられました。稗田阿礼は一度覚えたことは決して忘れないという記憶力の持ち主だったとか。

それから30年余の後、元明天皇おおのやすまろが太安万侶に命じて阿礼の口述を記録させ、和銅5年(712)にできあがったといわれているのが、日本最古の歴史書『古事記』です。



A71

正解は 金魚

「県のさかな」は、平成24年(2012)に制定された比較的新しい県のシンボルです。「県のさかな」に選ばれている鮎やアマゴは、いずれも良質な水に生息するデリケートな魚たち。奈良県の南部を中心とする山間部では、鮎釣り、アマゴ釣りも盛んですね。

残る1つの金魚は、大和郡山市の特産です。大和郡山市の金魚養殖の歴史は、江戸時代、享保9年(1724)に甲斐国から入部した柳澤吉里にさかのぼるといわれています。古くから溜め池の多い奈良盆地では、池の水質や栄養分が金魚の生育に好条件だったことが幸いし、金魚養殖は年々盛んになりました。

いまでも大和郡山市は日本有数の名産地です。夏には「全国金魚すくい選手権大会」も開催され、例年多くの参加者で賑わっています。

A72

正解は 下ツ道^{しもつみち}

古代律令国家のもとで造られた幹線道路には、南北に走る上ツ道、中ツ道、下ツ道の3道と、東西を結ぶ横大路、中央部を斜めに通る筋違道があります。

南北に走る3本の道の東西の間隔は、それぞれ4里でほぼ等間隔。上ツ道は奈良盆地の東部の山麓地帯を縦走し、現桜井市谷の仁王堂で横大路と交わり、近世には上街道と呼ばれました。中ツ道は上ツ道の西を走る道で、平城京の南から飛鳥の橘寺の東を経て、吉野に向かう道です。近世には橘街道と呼ばれました。

下ツ道は近世には中街道と称されました。下ツ道は平城京の中軸となった幹線道路。下ツ道が京域と交差するところが羅城門で、そこから幅約75mの広大な朱雀大路が平城宮朱雀門まで続いています。

ポケットに奈良 クロスワード

1		2	3		4	5
6	7		8			
9		10				
				11		12
13	14		15			
					16	
17				18		

タテの鍵

1. 同じ名前前の力士もいた東吉野村にある山。
3. 奈良県には3つの●●●●遺産があるね。
4. 生駒の名産品「高山●●●●」。
5. むかしは本物の馬を奉納したんだって。
7. 記憶力抜群だった稗田阿礼を祀る●●●●神社。
10. 貝殻の内側の光る部分を切り出し、漆地などにはめこんで模様を表す伝統細工。
11. 袖振り合うも多生の●●●●。
12. 門僕神社のイチョウは、これが葉っぱの上に実ります。
14. 築山古墳、築山古墳がある●●●●古墳群。
15. 大海人皇子と大友皇子、蘇我馬子と物部守屋は●●●●どうし。
16. 〴〵●●●の地蔵さん、と親しまれる金剛山寺。

ヨコの鍵

2. 宇陀市榛原や曾爾村、御杖村などに面影を残す●●●●街道。
4. 文殊菩薩は学問と●●●●を授ける仏さま。
6. 明日香村では石製のこの動物に会えるよ。
8. 桜井市の●●●●●荒神社はかまどの神さま。
9. 新緑や紅葉がきれいな天川村の●●●●●渓谷。
11. お寺や神社の起こりや伝説、靈験をまとめた言い伝えや絵巻。
13. 龍王、生駒、二上、三輪…。それぞれに続く、共通する漢字1文字を英訳すると?
16. 伝統漁法の●●●●漁が体験できる吉野川。
17. 神さまにお供えするお酒。
18. 代表的な正倉院宝物の1つ「螺鈿●●●●五絃琵琶」。



むすかしい?

答えは P119